

大型物件	環境共創イニシアチブ SII (経産省)	ZEB： ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業	年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物の構成要素となる建材や設備機器等を導入する建築物に対し、その経費の一部が補助されます	補助率 2/3 上限 10 億円
		再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金	再生可能エネルギー利用設備を導入する事業を対象 (「固定価格買取制度」において設備認定を受けないこと)	補助率 1/3 補助対象 設備費 工事費 設計費
		再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業	再生可能エネルギー普及・拡大の妨げとなっている課題への対応の仕組みを備え、かつ二酸化炭素の削減に係る費用対効果の高い取組に対し、再生可能エネルギー設備を導入する事業等に要する経費に対して補助金を交付	政令指定都市以外の市町村： 2/3 その他： 1/2

これからのそして未来の「自前エネルギー」 “ソーラー生活”システム

“ソーラー生活”システムなら

1. 電気、給湯、冷暖房 全てのエネルギーを「太陽光から」獲得します
2. 光熱費「ゼロ」を実現します

“太陽光”は何年経っても変わることなく人々が利用できる
「唯一のエネルギー」です!!



“ソーラー生活”システムを構成する部品

	太陽光 ハイブリッドパネル	複合利用 蓄熱槽	床暖房機 / 熱源利用空調機 (開発中)
外観	<p>前面 太陽電池</p> <p>背面: ヒートシンク</p> <p>電気と温熱: 太陽電池の2倍の出力</p>	<p>温熱を貯め使う時に出力します</p>	<p>床暖房</p> <p>熱源利用空調機</p> <p>温熱を有効に利用します</p>
仕様性能	<p>パネル面積: 1平米/1枚、8~100枚を一システムで設置利用 (23kg/1枚)</p> <p>電力/温熱=170/400w/一枚。配管は不凍液を通して熱交換する。</p>	<p>蓄熱とシステムの最適化制御を行う(制御器内蔵)</p> <p>400L 不凍液を貯留</p> <p>蓄熱温度45~70℃</p> <p>出力 ①給湯(水道水)</p> <p>②暖房冷房除湿(不凍液)</p> <p>ハイブリッドパネル 14枚~30枚</p>	<p>(熱源利用空調機)</p> <p>温熱を主に使い快適で健康に良い空調を行う。</p> <p>基準モデルは冷房/暖房=2.5/3kw。</p> <p>大型機種開発中</p>
仕様概要	<p>外形寸法: 幅 1,018mm</p> <p>高さ 1,018mm</p> <p>厚み 60mm</p>	<p>外形寸法: 幅 600mm</p> <p>高さ 1,700mm</p> <p>奥行き 860mm</p> <p>機能: 集熱機能</p> <p>給湯機能</p> <p>温水循環機能</p>	<p>●熱源利用空調機</p> <p>外形寸法: 幅 700mm</p> <p>高さ 1,500mm</p> <p>奥行き 460mm</p> <p>能力: 冷房 2.5kW</p> <p>暖房 3kW</p> <p>加湿・除湿 検討中</p>

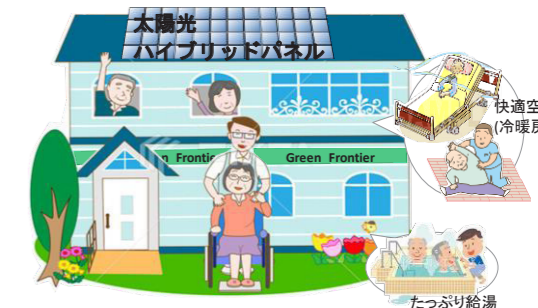
お問い合わせ先

受注・販売 “ ” 各社と連携検討中

施工・サービス・メンテナンス (株)エーピーシーメンテナンス 〒290-0081 千葉県市原市五井西中央2-10-7 2F
TEL: 0436-25-5050 FAX: 0436-25-1010
URL: <http://www.apc-maintenance.com/>

技術開発・商品システム設計 (株)GF 技研 〒416-0944 静岡県富士市横割 5-6-4
TEL: 0545-32-8525 FAX: 0545-32-8526
URL: <http://www.gf-technology.jp>

店舗用、施設用“ソーラー生活”もあります



“ソーラー生活”システムとは？

新太陽光パネル

・お客様が屋根に付けた **ハイブリッドパネル** による「自前のエネルギー」で

電気、給湯、冷暖房に利用することができる、新しいそして未来のシステムです。

・ハイブリッドパネルは太陽電池パネルの2倍のエネルギーを取れるため

小さな屋根に有効です

・“ソーラー生活”システムは温熱をたくさん使うお客様に最適です。

・「自前エネルギー」は 電気、風呂温水、給湯、暖房に利用します。

2018年度から冷暖房にも利用できます。

・蓄電、蓄熱槽は**万一の災害**にも安全安心です。

住宅用 大容量モデル “ソーラー生活”システム 24

5人家族 40坪 の事例

給湯、風呂温水、冷暖房

太陽光ハイブリッドパネル SSP 24枚 (接地面積 約 28m²)

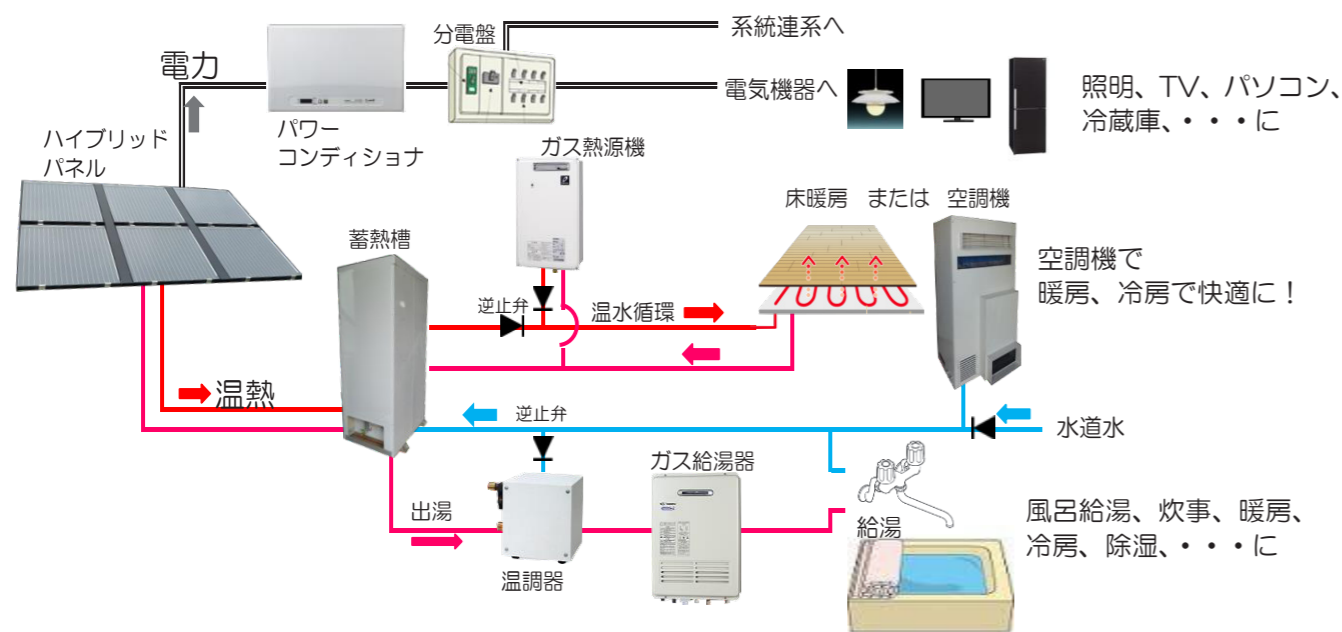
電力 4kW 温熱 9.6kW システム

蓄熱槽 400L 1台 補助熱源機：ガス給湯器又はHP

空調機 床暖房機 1床+エアコン4台

(2018年以降、熱源利用空調機 1台+フリークーリング 2~4台)

(住宅用はハイブリッドパネル 10~24枚が標準です)



御願い

- ・給湯にはソーラー対応の温調器を使用します。
- ・雨天や曇りなどの日射の不足を補うように、補助熱源機器の併設をお勧めします。
- ・熱源利用空調機は開発中です。床暖房器のご使用をお勧めします。

■エネルギー需給試算

	平均使用量 (5人家族 40坪)	大容量モデル パネル出力 (24枚)	標準モデル パネル出力 (12枚)
電気	5.5kWh/日	平均 12kWh/日	平均 6kWh/日
温熱・給湯	13.1kWh/日 40℃ 450L/日	平均 25.2kWh/日	平均 12.6kWh/日
光熱費削減額		26.8万円/年	13.4万円/年
エネルギー収支	①ハイブリッドパネル 24枚なら、お客さんが増えて使用量が増えても安心です。 ハイブリッドパネル 12枚は最適経済システムです。 ②ハイブリッドパネル 24枚なら床暖房利用も可能です。 余剰温熱 12.1kWh/日 で床暖房 + 余剰電力 6kWh/日でヒートポンプで補助 ③エネルギー不足の時は ガス給湯器や系統電力を使用します。(パネル 12枚でもOKです。) ④万一の災害時には蓄電・蓄熱が利用できます		

注) 暖房にファンコイルユニットを使うか床暖房を使うかはお客様のお好みに合わせて選択します。

(1)以上の試算により、暖房無しの場合 ハイブリッドパネル14枚モデルが適当かと推測します。

(2)災害時に備え、蓄電池の設置をお勧めします。

■ “ソーラー生活”システムの初期費用 (定価レベル)

現在下記定価設定検討中。(2018年は更に検討中)

項目	単価	大容量モデル		標準モデル	
		24枚	1,200,000	14枚	700,000
1. ハイブリッドパネル	50,000	一式	200,000	一式	160,000
2. パネル取付架台		400L	60,500		580,000
3. 蓄熱槽		4kWh	*840,000	—	—
4. 蓄電池		一式	250,000	一式	250,000
5. パワーコンディショナー および分電盤		1	*200,000	1	*200,000
6. ガス給湯器		1	—	—	—
7. 暖房器具 または空調機		一式	450,000	一式	350,000
8. 施工工事費		一式	200,000	一式	160,000
9. 配管・配線					
合計 注)			2,905,000円		2,200,000円
償却年数			10.8年		16.1年

注) 合計には 照明器具、給湯器具等及び*印は含みません。

■償却年数

償却年数を短くするために次に注力します。

1. 現在初期費用低減に注力しています。お客様のご要望をお聞きし最適システムを設計いたします。
2. パネルは電気/温熱の需要に合わせた最適枚数を選定して初期費用削減を図ります。
(暖房・冷房を含めるか否かも重要です)
3. 政府、県、市町村の環境補助金を活用して初期費用削減を図ります。
4. 目標償却年数**8年**目指して検討いたします。

■補助金情報

お客様のご希望に合わせて最適な補助金を活用します

	名称	概要	補助額
住宅用	ZEH：環境共創イニシアチブ SII (経産省)	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業	高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、ZEH を新築、購入、または既存住宅を ZEH へ改修する際に補助金が受けられます。 定額 125万円/戸 補助対象 設備費 工事費
	熱利用：東京都	既存住宅における再エネ・省エネ促進事業	太陽エネルギー利用システムの導入費用及び高性能建材を活用した省エネルギー費用の一部を助成 太陽熱利用システム 7万円/集熱面積 1㎡ 上限 50万円/戸
各市町村	太陽熱利用等の補助金が市町村にもあります。		